

設計内容説明書(耐震性)(第一面)

在来木造

通

瑕

[参考書式]

設計内容説明書(耐震性)

在来木造一戸建て用(第一面)

建築物の名称: **住宅木部邸**

- ・在来木造住宅において、フラット35Sを利用する場合に記入してください。
- ・耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)2又は3の基準に適合する場合には、Iに記入してください。
- ・免震建築物の基準に適合する場合には、IIに記入してください。

I 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)2又は3の基準に適合する場合

確認項目	設計内容説明欄				設計内容確認	
	項目	設計内容	評価方法基準	記載図書	確認	
目標等級	目標等級	<input type="checkbox"/> 等級2 (適用倍率1.25倍) <input checked="" type="checkbox"/> 等級3 (適用倍率1.5倍)		<input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算書 <input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適	
計算方法	計算方法	<input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算 ※ 階数が2階以下の場合に適用できます。 → 「壁量計算による確認項目」に記入してください。 <input type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input type="checkbox"/> その他 (1-1(2)ロ			
壁量計算による場合の確認項目						
※木造住宅工事仕様書の【フラット35S技術基準適合仕様図書】に記入した場合には、当該欄への記入は不要です。						
耐力壁	筋かい耐力壁	種類 (片方向筋かい 45mm×90mm) 倍率 (2) 種類 (たすき掛け筋かい 45mm×90mm) 倍率 (4)	1-1(3)ホ①	<input type="checkbox"/> 住宅工事仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算書 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適	
	木摺耐力壁	種類 () 倍率 ()				
	面材耐力壁	種類 (構造用合板) 厚さ (9 mm) くぎ種類 (N50) くぎ間隔 (150 mm) 倍率 (2.5)				
準耐力壁等	木摺準耐力壁・腰壁等	種類 () 倍率 ()	1-1(3)ホ①	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	面材準耐力壁	種類 () 厚さ (mm)				
	腰壁等	くぎ種類 () くぎ間隔 (mm) 倍率 ()				
壁量	1階(cm)		2階(cm)		1-1(3)ホ①表1	
	性能表示で定める存在壁量	X軸方向 4.560 Y軸方向 4.741	準耐力壁算入 <input type="checkbox"/> 算入あり			
	性能表示で定める必要壁量	X軸方向 4.204 Y軸方向 4.204				
床組・屋根面等	火打ち構面	種類 (火打金物HB) 寸法 () 火打ちの隅長 (mm) 取合う梁せい (150 mm) 構面の位置 (2階床(下屋含む)、小屋床) 倍率 (0.6)	1-1(3)ホ③	<input type="checkbox"/> 住宅工事仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適	
	2階床面	面材の種類 (構造用合板) 厚さ (24 mm) 根太間隔 (mm) 工法 (根木レス、四周釘打ち) くぎ種類 (N75) くぎ間隔 (150 mm) 倍率 (3.0)				
	小屋床面	面材の種類 () 厚さ (mm) 根太間隔 (mm) 工法 () くぎ種類 () くぎ間隔 (mm) 倍率 ()				
	屋根面	勾配 (4 寸) 面材の種類 (構造用合板) 厚さ (9 mm) 垂木間隔 (455 mm) 工法 (転ぼし) くぎ種類 (N50) くぎ間隔 (150 mm) 倍率 (0.7)				
	確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 存在床倍率≥地震に対する等級2又は3の必要床倍率				
	式1・式2					
接合部	下屋等の横架材の接合部	金物 (腰掛け蟻+羽子板ボルト) 仕口等 ()	1-1(3)ホ④b	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅工事仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適	
	胴差と通し柱の接合部	金物 (かたぎ入れ短ぼぞ差し+短冊金物) 仕口等 ()	1-1(3)ホ④a			
	確認方法	下屋等 1階小屋組等の端部等 <input checked="" type="checkbox"/> 存在接合部倍率≥必要接合部倍率 横架材 その他の部分 <input checked="" type="checkbox"/> 存在接合部倍率≥0.7	1-1(3)ホ④b			
	胴差と通し柱	<input checked="" type="checkbox"/> 評価方法基準による構造方法	1-1(3)ホ④a			

20 20401

該当する等級に
☑する

計算方法を選択
する。限界耐力
計算や保有水平
耐力計算、令 82
条(第1~3号)・
82条の4で行っ
た場合は「その
他」欄に記入する

設計内容が記載
されている図書
に☑を入れる。
予め記載図書欄
に記載された図
書以外のもの
でも確認でき
た場合は当該
図書名を記入
し、☑を入れる

記載しない

記載例を参考
に必要事項を
記入する。該
当する☐には
☑を入れる

機構承認住宅(設計登録タイプ)の場合、本設計内容説明書の提出は不要

設計内容説明書(耐震性)(第二面)

在来木造

通

瑕

在来木造一戸建て用(第二面)														
確認項目	設計内容説明欄				設計内容確認									
	項目	設計内容		評価方法基準		記載図書								
基礎	根入れ深さ	深さ (270 mm)		1-1(3)ホ⑤	<input type="checkbox"/> 住宅工事仕様書 <input type="checkbox"/> 基礎伏図 <input checked="" type="checkbox"/> 基礎詳細図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適								
	基礎の各部寸法	立上り部分 高さ (400 mm)	厚さ (150 mm)											
	基礎の配筋	底盤の寸法 厚さ (150 mm)	幅 (500 mm)											
		主筋 (径 D13 mm)	標準部の補助筋 (径 D16 mm)											
確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> スパン表 (種類 日本住宅・木材技術センター) <input type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input type="checkbox"/> その他 ()		1-1(3)ホ⑤											
横架材	横架材の断面寸法 (最小～最大)	床大梁 (105 mm × 120～360 mm 間隔 910)	1-1(3)ホ⑤		<input type="checkbox"/> 住宅工事仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 軸組図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適								
		床小梁 (105 mm × 120 mm 間隔 910)												
		小屋梁 (105 mm × 120～240 mm 間隔 1.820)												
		胴差 (105 mm × 105～210 mm 間隔)												
根太 (mm × mm 間隔)														
確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> スパン表 (種類 日本住宅・木材技術センター) <input type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input type="checkbox"/> その他 ()		1-1(3)ホ⑤											
その他	確認事項	<input checked="" type="checkbox"/> 建築基準法施行令第3章第1節から第3節まで(令第39条及び第48条を除く。)の規定に適合		1-1(3)ホ⑥										
□ II 免震建築物の場合														
構造躯体	免震建築物	<input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第2009号第1第3号に規定される免震建築物 ・同告示第2の該当する号 <input type="checkbox"/> 一号(四号建築物) <input type="checkbox"/> 二号(建築基準法20条第二号及び第三号に掲げる建築物) <input type="checkbox"/> 三号(時刻歴応答解析を行い大臣認定取得) ・免震層・免震材料の維持管理に関する計画 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・敷地の管理に関する計画 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他 ()		1-1(3)イ	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 計画書 <input type="checkbox"/> 配置図 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適								
注1) フラット35Sにおける耐震性に関する基準は次のいずれかになります。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;">フラット35S(優良な住宅基準)</td> <td style="width:33%;">フラット35S(特に優良な住宅基準)</td> </tr> <tr> <td>耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)</td> <td>等級2又は等級3</td> <td>等級3</td> </tr> <tr> <td>耐震等級(免震建築物)</td> <td>免震建築物であること、免震層・免震材料の維持管理に関する計画が定められていること、及び敷地の管理に関する計画が定められていること</td> <td>-</td> </tr> </table> 注2) 太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で変更することができます。 注3) 書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合にあっては、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。							フラット35S(優良な住宅基準)	フラット35S(特に優良な住宅基準)	耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	等級2又は等級3	等級3	耐震等級(免震建築物)	免震建築物であること、免震層・免震材料の維持管理に関する計画が定められていること、及び敷地の管理に関する計画が定められていること	-
	フラット35S(優良な住宅基準)	フラット35S(特に優良な住宅基準)												
耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	等級2又は等級3	等級3												
耐震等級(免震建築物)	免震建築物であること、免震層・免震材料の維持管理に関する計画が定められていること、及び敷地の管理に関する計画が定められていること	-												
20120401														

記載例を参考に必要事項を記入する。該当する□には☑を入れる

記載しない

機構承認住宅(設計登録タイプ)の場合、本設計内容説明書の提出は不要